みんなで未来のおかやまを描こう！

岡山市 まちづくりワークショップ

＜ワークショップのとりまとめ＞

2025.3.31

Hello, New Local !

VIS-À-VIS

開催の目的

岡山市の将来像やまちづくりの方向性を示した第六次総合計画が令和７年度に終期を迎えることから、さまざまな世代・立場の市民の皆様から、これからのまちづくりの方向性や必要な視点、アイデア等について意見を聴取することで、次期総合計画をより市民ニーズを踏まえたものにすることを目的としています。

開催概要

ワークショップ	開催日時	会場
若者100人 ワークショップ	2024年10月20日(日)	岡山コンベンションセンター 2Fレセプションホール

ワークショップ	開催日時	会場
まちづくりワークショップ（東区開催）	2024年11月16日(土)	東区役所 3F 多目的ホール大
まちづくりワークショップ（中区開催）	2024年11月17日(日)	中区役所 2F 多目的ホールA
まちづくりワークショップ（北区開催）	2024年12月14日(土)	岡山芸術創造劇場ハレノワ 4F 練習室8
まちづくりワークショップ（南区開催）	2024年12月15日(日)	南区役所 4F 大会議室

第1章

若者100人ワークショップ

～若者にとって魅力的なまちってどんなまち？～

開催概要（若者100人WS）

▪ **下表のとおり、実施しました**

項目	概要
開催日	令和6年10月20日(日)
開催時間	13:00～16:30
開催場所	岡山コンベンションセンター 2Fレセプションホール
対象者の選定基準	「若い世代」を中心とする多様な主体
参加人数	89名
内容	・若者たちが岡山市の将来像やこれからのまちづくりの方向性について話し合い、未来の岡山市を考える。 ・身近な体験をもとに3つのテーマから岡山市の未来を自分事化して話し合う。

実施方法

ワークショップ方法　グループディスカッション／グループ発表形式

7～8人の大グループに分かれる

・若い世代を中心とする多様な主体が参加した。
・参加者が自分事化できる身近なテーマを設定した。

さらに3～4人の小グループに分かれて話し合い、付箋に書きだしていく

・小グループにすることで、個人の意見が反映されるよう留意した。
・参加者が自由に発言できる雰囲気づくりに努めたことで、多数の意見がでた。

大グループに戻り、出た意見をグルーピングし、サブタイトルを付ける
偵察タイムも行う

・グループ毎に出てきた意見を集約、とりまとめを行う。
・偵察タイムで、自分以外の考えや意見を知る機会を設けた。

「とりまとめシート」を作成し、全体発表する

・グループ毎のとりまとめを全体に発表し、会場に共感の輪を広げた。
・意見を整理し発表することで参加者の当事者意識、満足度を高めることができた。

ワークショップのテーマ

■岡山市の都市機能・時代潮流・人口、ワークショップの進め方の説明を踏まえ、アイスブレイクをした後に下記３テーマについて話し合いました。
■テーマ①で岡山市の「お宝」「足りないもの」について話し合い、付箋に書いて模造紙に貼りだしました。
■テーマ②③で岡山市が若者にとって住み続けたいまちとなる方向性を見出し、将来像を実現するためにそれぞれが取り組みたいことを付箋に書きだし、全体で共有しました。
■最後に作成した「とりまとめシート」に岡山市のキャッチフレーズをつけてグループ毎に発表を行い、会場全体で発表しました。

「若者100人ワークショップ」当日の流れ

テーマ①	**岡山市のお宝ってなに？ 岡山市で、足りないなと思うのはなに？**
テーマ②	**岡山市がどんなまちだったら住みたい、住み続けたい？**
テーマ③	**住み続けたいまちにするためには？**
全体発表	**テーマ①②③をもとに「とりまとめシート」を作成。将来の岡山市のキャッチフレーズを考え、全体で共有する**

当日のスケジュール

時間	LAP	項目	内容	備考
12:30～13:00	30"00	受付		
13:00～13:01	01"00	**開会**	コーディネーターによる開会	
13:01～13:02	01"00	**市長挨拶**	**■岡山市長　大森雅夫**	
13:02～13:05	03"00	**参加者紹介**	アドバイザー2名／各グループのファシリテーター	
13:05～13:10	05"00	**オリエンテーション**	(1)WS開催の目的・位置づけ説明 (2)岡山市の総合計画、プロフィール、主な取組 (3)今後について（最新の話題）	【PPT】
13:10～13:30	20"00	**アイスブレイク**		
		・13:20-13:33（13分） グループ内で自己紹介		
		・13:33-13:40（7分） ゲーム		
13:30～14:10	40"00	**テーマ①｜岡山市のお宝ってなに？」「岡山市で、足りないなと思うのはなに？」** 【たとえば】歴史・伝統文化、自然環境、食文化・生活文化、商業・娯楽施設、文化・スポーツ施設、教育環境、産業、交通など		
		・13:35-13:37（2分） 説明		
		・13:37-13:40（3分） 個々人意見書き出し	付箋に書き出していく	
		・13:40-14:00（20分） グループ内発表・意見	グループ内で順番に発表し、意見交換を行う、偵察タイム	※5名グループで実施
		・14:00-14:10（10分） とりまとめ	出た意見をグルーピングし、サブタイトルをつける	※10名グループで実施 ※模造紙1枚配る
		・14:10-14:15（5分） 全体まとめ	**アドバイザーが全体的なまとめを発表**	
14:10～14:15	05"00	**休憩**		
14:15～14:55	40"00	**テーマ②｜岡山市がどんなまちだったら住みたい、住み続けたい？」** 【たとえば】若者の成長を地域全体で支えるまち、週末に色々たのしみがあるまち、地域全体で支え合うまち、魅力いっぱいのまち		
		・14:15-14:17（2分） 説明		
		・14:17-14:20（3分） 個々人意見書き出し	※同上	
		・14:20-14:40（20分） グループ内発表・意見	〃	※5名グループで実施
		・14:40-14:50（10分） とりまとめ	〃	※10名グループで実施
		・14:50-14:55（5分） 全体まとめ	**アドバイザーが全体的なまとめを発表**	
14:55～15:00	05"00	**休憩**		
15:00～16:05	65"00	**テーマ③｜「住み続けたいまちにするためには？」** 【たとえば】こんな取り組みが必要だ、進めるべきだ　こんな制度があったらいいな こんなことにチャレンジしたい、こんなことに参加したい		
		・14:55-14:57（2分） 説明		
		・14:57-15:00（3分） 個々人意見書き出し	※同上	
		・15:00-15:20（20分） グループ内発表・意見	〃	※5名グループで実施
		・15:20-15:40（20分） 全体とりまとめ	〃	※10名グループで実施
		・15:40-16:00（20分） 各グループの発表	〃テーマ①②③をまとめて発表	※1グループ2分×10グループ
16:05～16:15	10"00	**総括・政策局長コメント**	**アドバイザー・司会によるまとめ、北川政策局長からのコメント**	
		参加者アンケート記入		
		集合写真撮影		
16:30		**閉会**		

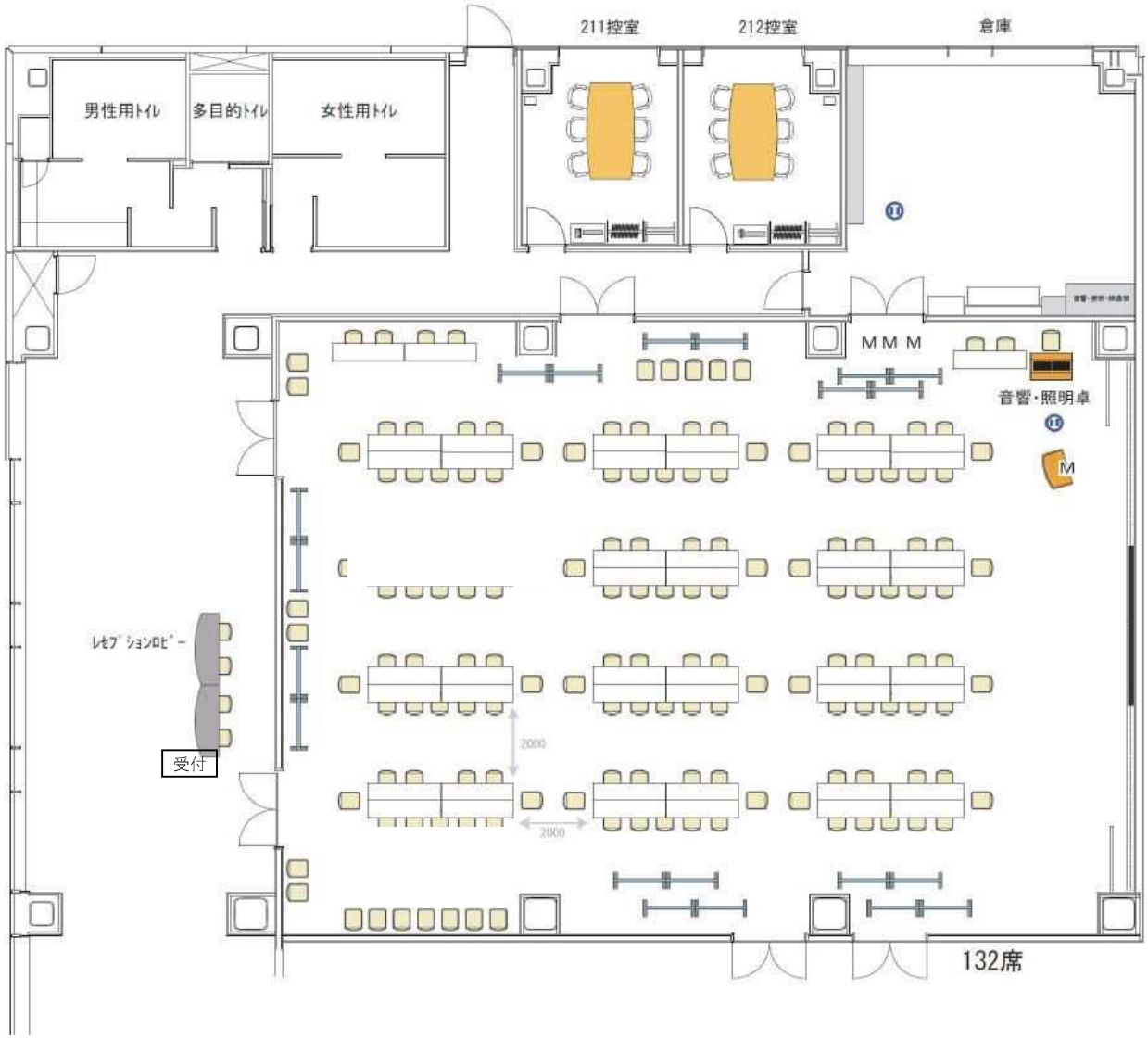
会場レイアウト

■グループ構成

参加者：1グループ7～8名×10グループ
ファシリテーター：1グループ1～2名×10グループ

■会場

- 岡山コンベンションセンター 2階 レセプションホール



テーマ①-1「岡山市のお宝ってなに？」

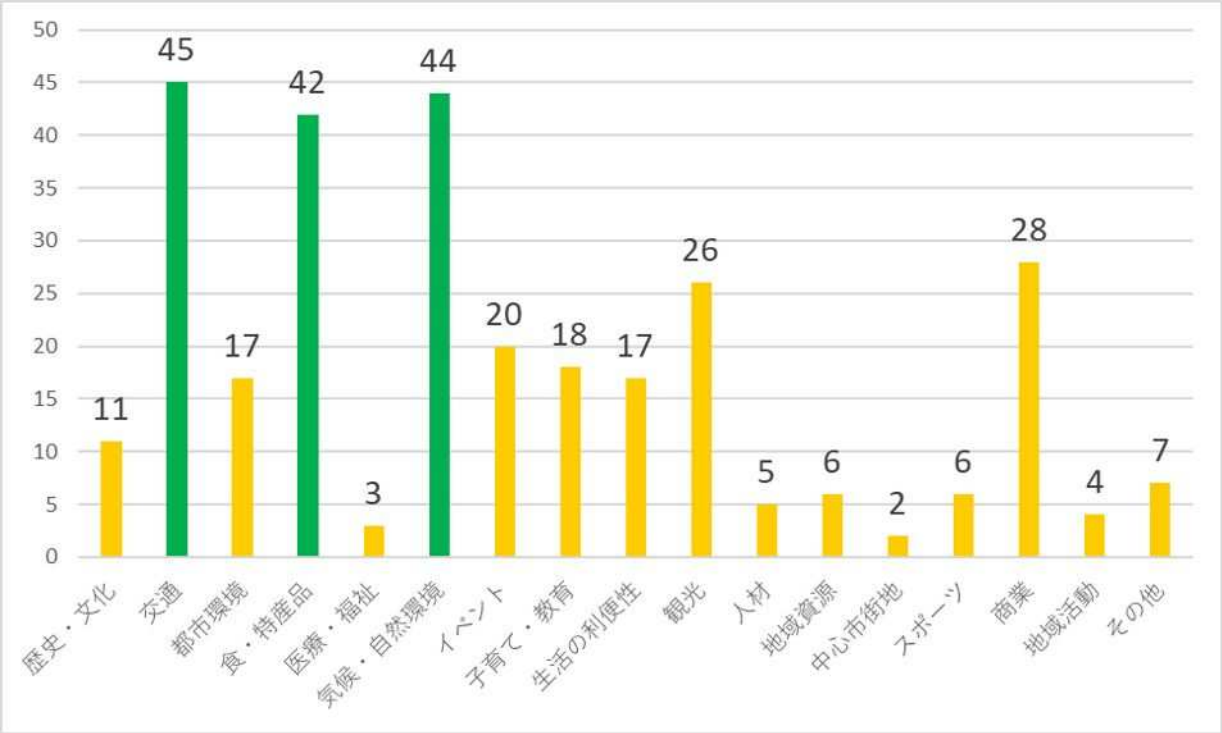
・他県の人たちに岡山市を自慢したいコト・モノ
・とても満足しているコト・モノ
・これからも大切にしていきたいコト・モノ
・岡山らしいと思うコト・モノ

＜進め方＞

①個人で意見を付箋に書き出す。（3分間）
※１枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に
②各グループ、5人ずつ２つのチームに分かれて、記入した付箋紙を模造紙に貼りながら発表。その後意見交換・新たな意見もどんどん追加（20分間）
③10人1グループになって、類似の意見をグルーピングし、サブタイトルをつけてまとめる（10分間）

＜結果＞

〇ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で301件となりました。
〇分野別キーワード数



【市民の意見】①-1岡山市のお宝

分野別キーワードの要旨

分類	要旨
歴史・文化	文化的・歴史的な資源が豊富（岡山城、古墳、吉備津神社、最上稲荷）
交通	交通アクセスが良好（近畿・四国・九州へのアクセス、新幹線停車駅） 公共交通機関が充実（路面電車、バスの本数が多い・料金が安い） 自転車環境が整備されている（ももちゃりが便利、自転車専用通行帯）
都市環境	都会と自然のバランスが良い（都会の近くに自然が多い） 公園や自然環境が整っている（きれいな公園、岡山駅の周りに公園が多い）
食・特産品	フルーツが豊富でおいしい ご当地グルメやお土産が豊富 飲食店が充実（ケーキ屋・パン屋・ラーメン屋・焼肉屋が多い）
医療・福祉	医療の質が高く、福祉施設多い
気候・自然環境	自然が豊か（自然が多い、緑が多い、川がきれい、街路樹が多い） 気候が良く過ごしやすい（天気がいい、晴れの国） 災害が少なく安心（災害が少ない、地震が少ない） 地形が平坦で移動しやすい
イベント	祭りや地域の行事が豊富（うらじゃなど恒例の祭り、地域の行事が多い） 多彩なイベントが開催される（ドーム・ハレノワ・公園・商店街のイベント）
子育て・教育	学生が多く、学びの環境が充実（大学が多い、学生のまち） 教育・学習支援が整っている（勉強スペース、図書館）
生活の利便性	便利で暮らしやすい街（買い物できる場所が多い、物価・家賃が安い） 徒歩や自転車で移動しやすい（街なかが歩きやすい、レンタサイクル）
観光	歴史や伝説にゆかりのあるスポット（桃太郎伝説のある吉備津神社、古墳、） 観光や自然を楽しめる名所（後楽園、犬島、西川緑道公園、八幡温泉） 文化やアートの魅力がある街（アートの街、レトロな商店街、瀬戸芸の窓口）
人材	人々が元気で、誰にでも優しい
地域資源	「桃太郎」ブランド、制服産業
中心市街地	まちがシンプルでコンパクト
スポーツ	地元のプロスポーツチームが多く、盛り上がっている
商業	おしゃれなカフェや飲食店が多い イオンなどの大型商業施設が揃っている 服屋・古着屋・レコード店が豊富
地域活動	学生や若者が多く、交流する場所が豊富
その他	アルバイトできる店が多く、時給も高い

意見が多かった項目

テーマ①-2「岡山市で、足りないなと思うのはなに？」

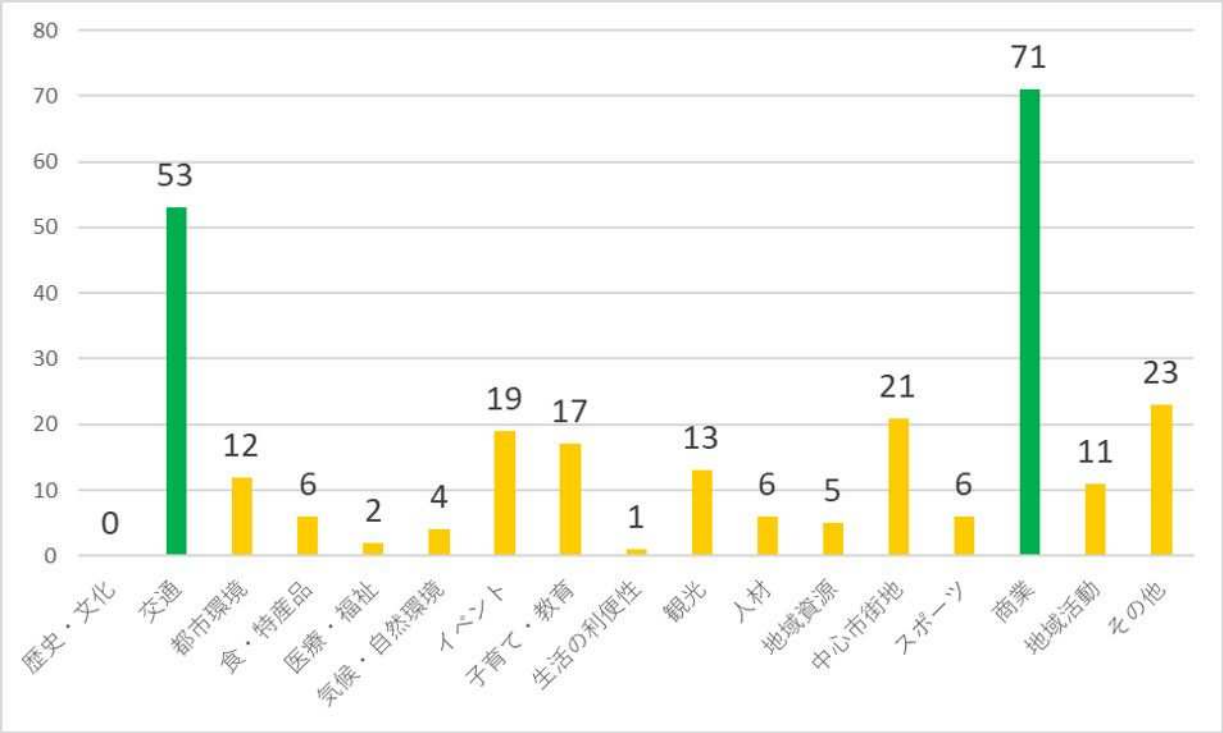
・これからより良くしていくべきコト・モノ
・こんなモノがあったらいいなぁ

＜進め方＞

①個人で意見を付箋に書き出す。（3分間）
※１枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に
②各グループ、5人ずつ２つのチームに分かれて、記入した付箋紙を模造紙に貼りながら発表その後意見交換・新たな意見もどんどん追加（20分間）
③10人1グループになって、類似の意見をグルーピングし、サブタイトルをつけてまとめる（10分間）

＜結果＞

〇ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で270件となりました。
〇分野別キーワード数



【市民の意見】①-2岡山市で足りないもの

分野別キーワードの要旨

分類	要旨
歴史・文化	なし
交通	バス・電車の本数が少なく最終便が早い 路面電車の路線が短い、JRの駅間隔が遠い 道路の整備が不十分、交通マナーが悪い、渋滞が多い 自転車道が少ない、駐輪場が探しにくい、ももちゃりが使いにくい 車がないと生活しにくい、空き地がすぐ駐車場になる、郊外の交通の便が悪い 観光地への移動手段が少なく、交通の便が良すぎて通過点になっている
都市環境	公園が少ない
食・特産品	食べ歩きスポットがない、居酒屋が少ない
医療・福祉	周辺部に専門病院が少ない
気候・自然環境	災害対策が徹底されていない（災害がすくないから）
イベント	スポーツや音楽イベントが少ない、ライブが開催できる会場がない 若者向けのイベントが少ない
子育て・教育	子どもが遊べる公園が少ない、他市の方が子育て支援が充実している 大手企業が少なく、就職先が少ない
生活の利便性	なし
観光	観光地までの案内が不足
人材	有名人や大物アーティストなどがあまり来ない
地域資源	桃太郎以外に岡山のイメージがあまりない
中心市街地	商店街に活気がない、駅前に集中している
スポーツ	スポーツイベント・スポーツ施設が少ない
商業	遊園地やテーマパーク、水族館などの大型娯楽施設が少ない イオン以外に行きたい商業施設がない、駅周辺を離れると行く場所がない 子どもが楽しめる施設や他県から人を呼べるような目玉となる施設が少ない 路面店などの若者向けの店が少なく、若者が遊ぶ場所がない 夜間営業の店が少ない 大きなライブ会場がなく、大規模イベントの開催が難しい
地域活動	地域のつながりが弱く、住民同士が交流できる場が少ない
その他	SNSを含め、PR不足で、認知度が低い

	意見が多かった項目

テーマ②
「岡山市がどんなまちだったら住みたい、住み続けたい？」

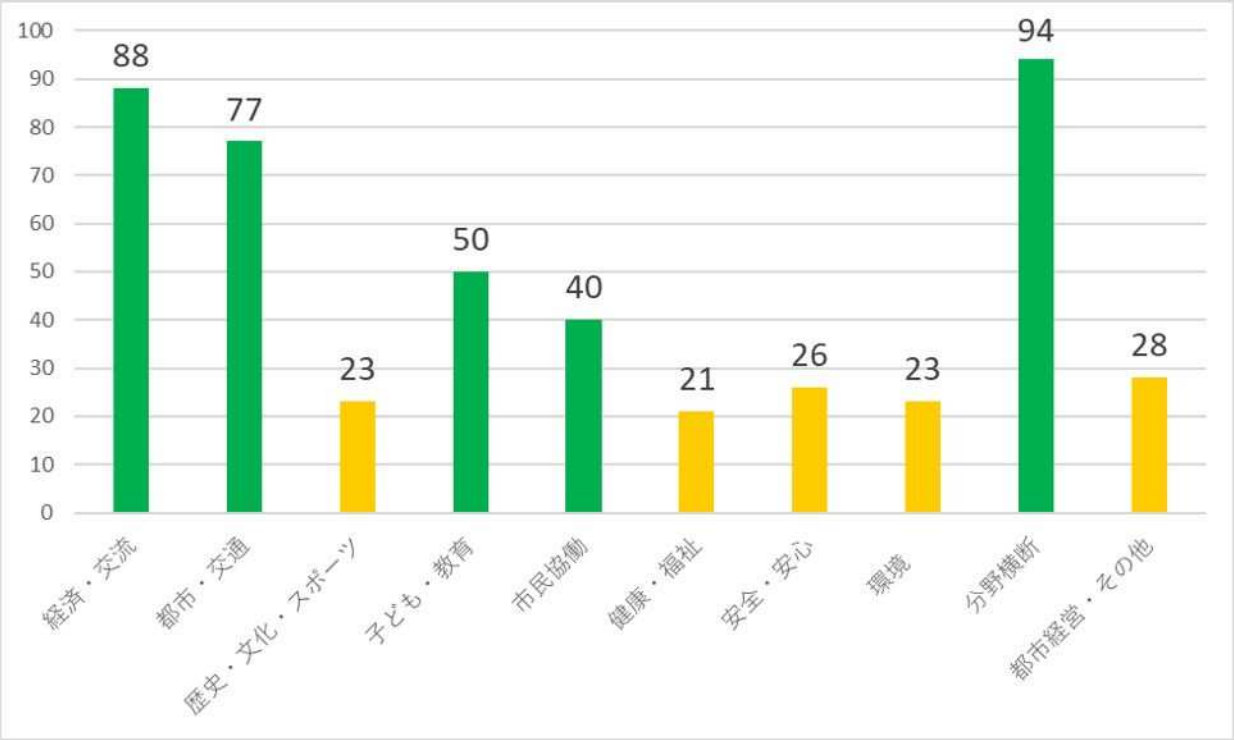
- こんなまちにしたいなぁ
- こんなまちになってほしい
- 夢、希望、将来像（ビジョン）
- こんなまちなら行ってみたい
- 魅力的なまち

＜進め方＞

①個人で意見を付箋に書き出す（3分間）
※１枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に
②各グループ、5人ずつ２つのチームに分かれて、記入した付箋紙を
模造紙に貼りながら発表。その後意見交換・新たな意見もどんどん追加（20分間）
③10人1グループになって、類似の意見をグルーピングし、
サブタイトルをつけてまとめる（10分間）

＜結果＞

〇ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で470件となりました。
〇分野別キーワード数



※現行の総合計画の分野別計画の分野を参考にした９つに「分野横断」を加えた１０の分野に分類した。

テーマ③「住み続けたいまちにするためには？」

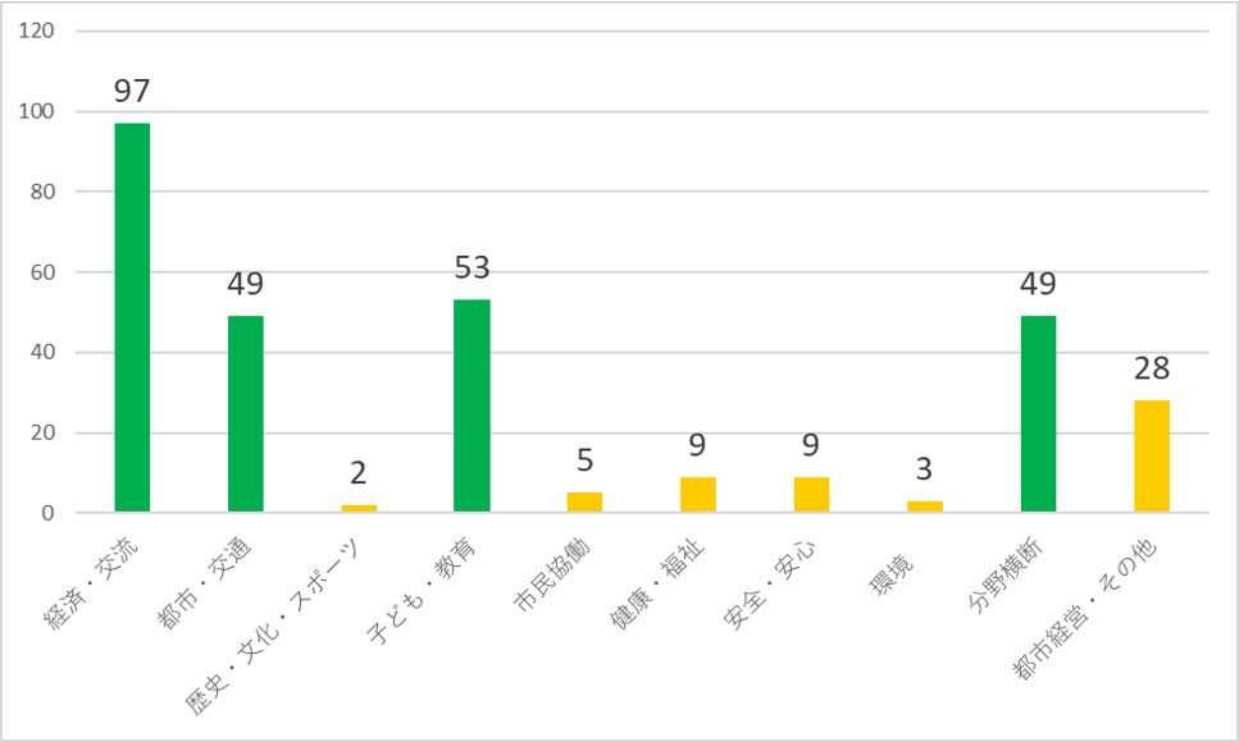
・こんな取り組みが必要だ、進めるべきだ
・こんな制度があったらいいな
・こんなことにチャレンジしたい、
　こんなことに参加したい

＜進め方＞

①個人で意見を付箋に書き出す（3分間）
　※１枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に
②各グループ、5人ずつ２チームに分かれて、記入した付箋紙を模造紙に貼りながら
　発表。その後意見交換・新たな意見もどんどん追加（20分間）
③10人1グループになって、類似の意見をグルーピングし、サブタイトルをつけてまとめる
　その後テーマ①②③をもとに、「とりまとめシート」（後で説明）にまとめる（20分間）
　※発表者と発表スタイルを決めておいてください
④各グループ毎に、テーマ①②③の全体を「とりまとめシート」の発表
（20分間：1グループ2分間×10グループ）

＜結果＞

○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で304件となりました。
○分野別キーワード数



【市民の意見】

②岡山市がどんなまちだったら住みたい？/③住み続けたいまちにするためには？

分野別キーワードの要旨

中分類	小分類	要旨	
		テーマ②　理想像	テーマ③　必要な取組
経済・交流	産業・雇用	賃金・時給が高く、福利厚生も充実した待遇のよいまち 就職の選択肢が多く、様々な会社や仕事を知る機会のあるまち起業支援＝挑戦できるまち	様々な業界・規模の企業誘致、就職先や起業の機会の拡大 企業･行政･教育機関が連携し、学生と企業の交流の創出 働きやすい環境づくりと収入向上、挑戦したい若者の支援
	中心市街地	グルメ・カフェなどのお店が充実したまち 娯楽施設が多く、買い物以外でも一日中遊べるまち 路面電車が延伸され、便利なまち	多様な飲食店･個性的専門店の充実や商店街の活性化 若者向けのスポットやカフェ、娯楽・商業施設の拡充 路面電車の自動運転化などにより、中心市街地のアクセス向上
	食・農業	岡山市の特産品などのおいしい食べ物を手軽に楽しめるまち	岡山の特産品を身近で食べれる機会の創出 新規就農者も含めた農業従事者への支援の充実
	観光・交流	魅力的な観光資源がしっかりPRされているまち 様々な人が来たくなるまち（移住者、外国人、有名人）	周遊ツアーなどの体験型観光による魅力の発信 まち歩きマップや公共交通の充実による観光の利便性向上
都市・交通	拠点形成 地域振興	自転車、徒歩圏で買い物ができるまち	みんなにやさしいコンパクトシティの実現
	交通	公共交通アクセスがよく、車がなくても生活できるまち 歩道が広く、徒歩や自転車で生活できるまち 渋滞が少なく、交通マナーのよいまち	増便・格安料金などを通した公共交通の充実 広い歩道や自転車専用道の整備による歩きやすく安全な環境整備 車がなくても生活できるコンパクトシティの実現
	都市景観 住環境	自然が多く、まち歩きを楽しめるおしゃれなまち 大きな公園や広場が充実したまち	道路や街中に樹木や花を増やし、自然豊かな都市環境を創出 子育て層や若者が楽しめる公共施設と空間の充実
歴史・文化 ｽﾎﾟｰﾂ	歴史・文化 芸術	独自のアート文化があり、デザインされたまち	なし
	スポーツ	スポーツ施設が充実していて、どこでも運動できる健康的なまち	スポーツを見るだけでなく、市民自身が運動できる環境づくり
子ども 教育	子ども 子育て	子どもにやさしく、安全で暮らしやすいなまち 子どもの遊べる施設が多く、学習支援が充実したまち 子育て支援が充実し、多様な交流もあり不安のないまち	公園整備やイベントの開催など、親子で遊べる環境づくり 保育施設の増設や人員拡充、産休・育休を取りやすい環境整備 子育て世帯の交流促進や金銭的負担の軽減
	女性・若者	若者が多くて活気のあるまち	若者の政治参加の促進
	教育	進学しやすいまち（学費免除・補助や奨学金） 勉強できる場所や進学先が多いまち	学習環境の充実と学費負担の軽減による、誰もが学べる環境整備 学部学科の増設などによる多様で質の高い教育環境の整備
市民協働	協働、国際、 人権	意見が言いやすく、みんなでまちづくりを進めるまち ダイバーシティ・ジェンダーレスを推進しているまち 海外・異文化交流が活発で外国人と共生するまち	ボランティアへの参加など、地域活動への積極的な参加 年代、性別、国籍を問わず受け入れ、活躍できる環境づくり
健康・福祉	健康・福祉	医療施設が充実しており、健康でいられるまち 障害者に不便がなく、高齢者も活発に活動できるまち	物理的・精神的バリアフリーとユニバーサルデザインの推進 医療費軽減など、誰もが安心して医療を受けられる環境整備
安全安心	防災	地域ごとの防災訓練も実施される災害に強いまち	災害に備えたシェルターの整備
	安全・安心	用水路に落ちない安全なまち 犯罪が少なく、安全で安心して暮らせるまち	ガードレールなど用水路に落ちないための対策 夜間の治安を良くするための街灯の設置
環境	環境	山や川など自然が豊かで、生きものと共存するまち 環境問題に向き合い、ごみや騒音が少ないまち	みんなが清掃ボランティアに参加したくなる工夫 ポイ捨てをなくすための啓発活動
分野横断	賑わい、活気	著名なアーティストのライブや大規模イベントが開催されるまち イベントが盛んで、休日の選択肢が多いまち 地元地域イベントが盛んで、多様な年代とつながれるまち	音響の良い大規模なライブ会場の整備 イベントへの地域住民や学生ボランティアの参加促進
	つながり	人が集まり交流する場所がたくさんあるまち 学生・社会人・住民など多世代が交流しつながるまち あいさつが気軽にでき、思いやりと助け合いが多いまち	職場や学校以外の人とつながる交流の場づくり 同年代や同趣味などの人同士がつながる場の創出 地域住民同士の交流を増やすことによる地域コミュニティの強化
	シビック プライド	流行の先端を行くおしゃれなまち	流行や新しいものにすぐ触れられ活気がある
	住みやすさ	どんな人にも住みやすい、温かくやさしいまち	誰もが買い物や移動に困らないための支援や、助け合いの促進
都市経営 その他	その他	頼れる市役所が親身になって対応してくれるまち 脱桃太郎、桃太郎以外の魅力のあるまち	ワークショップなどの市民の声を取り入れる場の充実 SNS等を活用した岡山市の魅力の発信の強化

意見が多かった項目

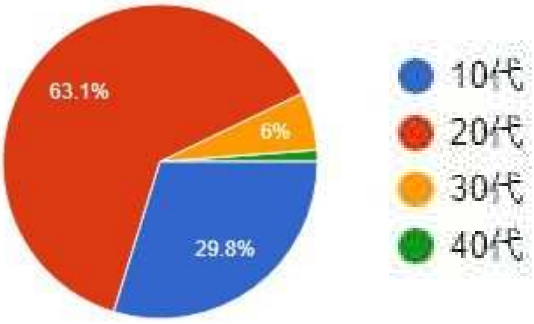
【グループ発表とりまとめ】

キャッチフレーズ	住み続けたいまち	住み続けたいまちにするために
「地元でキャリアを積もう！」	インドア・アウトドアともに遊ぶ場所がたくさんあったらうれしい。岡山に本社や本部が増えれば住み続けたい。	（チャレンジしたいこと） 清掃などのボランティア。岡山で就職する。岡山でやりたいことに積極的にチャレンジしたい。 （必要な取り組み） 市民の意見を取り入れる制度、起業したい人への助成金、企業の誘致などが必要。
「すべての世代が交流できて 安心して楽しく暮らせる街」	仕事・産業と遊び・娯楽を両立させ、安心・安全で便利なまちになれば、住み続けたい。	（チャレンジしたいこと） 岡山市の魅力を誰もが発信していく。 （必要な取り組み） 市民が意見交換でき、子育て支援や育休の雰囲気づくり、地元企業の活性化、福利厚生充実、安心できる居場所のある、ワークライフバランスが取れるまちを
「モモで始まりMOMOで終わる 岡山」	交通マナーが良く、アクセスも良好で安心安全なまち。労働環境が整い、学べる仕事の場が多く、商店街中心に食や文化で人がつながり、外国人も幸せに暮らせるまち。	（チャレンジしたいこと） 岡山の魅力を市民同士で共有し、積極的にイベントに参加しよう。 （必要な取り組み） 娯楽施設を増やしたり、音楽関係の施設やイベントを増やすことが必要。駅周辺の明るさや景観保護も必要。
「人もモノも近いマチ」 交流や移動がしやすいまちという意味を込めている。	進学・就職の選択肢が多く、市内のどこでも移動がスムーズにできるまち。医療もスムーズに受けられ安心できるまち。	（チャレンジしたいこと） プラットフォームの活用。誰とでも仲良くする。 （必要な取り組み） 人やモノ、情報が集まるプラットフォームの創設。どこに住んでいても便利に使えるインフラの整備。
「ぼっけぇかわええ岡山」 かわいいという言葉は世界共通の褒め言葉。外見がかわいくなるだけでなく、まちがよくなるようにという意味を込めて、このフレーズに。	子育て支援がある、交通の便が良い、娯楽が多い、経済支援の充実などがあれば住みやすい。理想のまち。かわいいまちとは、外見的にきれいなまちというだけではなく、イベントや娯楽など若者が充実できる多様な側面も含めて理想のかわいいまち。	（チャレンジしたいこと） 商店街を楽しむ。外観をきれいにする。観光しやすいまち。 （必要な取り組み） 商店街を支援。道路、歩道を整備。絶景、特産品、市内周遊ツアーなどを増やす。
「でかけたくなる、 ハレマチ岡山」	安心安全なまち、市民に寄り添った制度があり、人とのつながりがもてるまち、出かけたくなるまち、イベントが充実したまち。	（チャレンジしたいこと） スポーツ、多くの人との交流。 （必要な取り組み） バリアフリー化を進め、公共交通機関を充実し、安全に歩けるまちに。出かけたいイベントができ、人が出会い、モノが育ち、岡山市のお宝がより素敵なものにいかされる

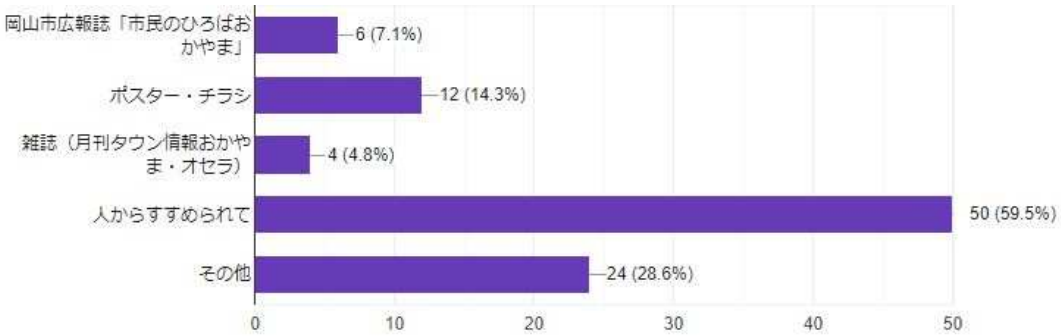
キャッチフレーズ	住み続けたいまち	住み続けたいまちにするために
「もんげ～明るい街じゃ市」	キャリアサポートが充実したまちで、大学生が困らないような支援を。人とのつながりを生む機会が増え、同じ趣味やキャリアを持つ人々が集まる場が増えることも重要。さらに、無料で利用できるスポーツ施設や音楽スタジオの充実で、将来の可能性を広げられる環境が整う。	（チャレンジしたいこと） イベントの企画。みんなの意見を実現。 （必要な取り組み） 大学と企業がつながれるキャリアサポートの手厚いまち。中四国や大阪との共同講義。SNSをもっと活用し若者が地元を好きになるように。
「みんなの未来を晴（て）らす　岡山」	職場環境を改善し、若者が学び続けられる教育環境と、伝統的風景をいかした美しいまちづくりを。	（チャレンジしたいこと） 岡山で起業したい。魅力発信。SNSなどを使って岡山の魅力を発信。 （必要な取り組み） 起業に向けチャレンジを認めてくれる挑戦しやすい環境。若者の意見を認めてくれる環境。起業情報を知ることができる交流の場を。
「E.T.おかやま～皆がつながるまち～」	人との繋がりが感じられるまち。教育・福祉が充実したまち。	（チャレンジしたいこと） 住民参加型イベントの企画。新たな独自技術・産業を岡山で起こす。 （必要な取り組み） 教育や医療の支援。交通の利便性向上。
「ちょこっとの”おせっかい”で　つながる岡山市！」 ちょっとおせっかいだと思われるぐらいのやさしさを	コミュニティの充実、安全な子育て環境、愛着を育てる、エンタメあふれるまち。	（チャレンジしたいこと） ”おせっかい”になる。 （必要な取り組み） 知り合いになるきっかけ作りとして、今日のようなイベントなど、市民同士がつながれる場を作ることで”おせっかい”がたくさん増える。

【参加者アンケートの結果】
＜回答者84名＞

①年代をお教えください



②本ワークショップの開催は何で知りましたか？（複数回答可）

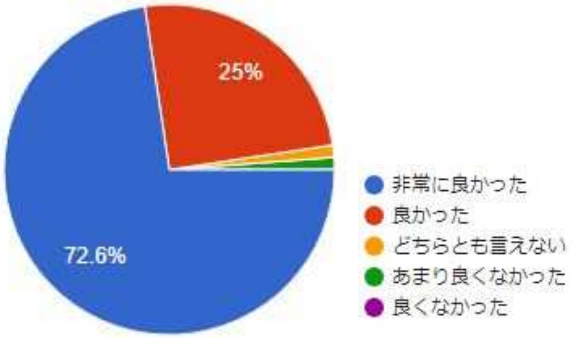


③②で「人からすすめられて」「その他」を選んだ方は、具体的に記入をお願いします。

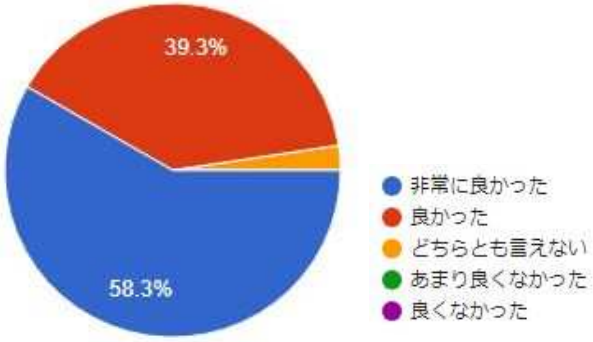
・担任の先生、学校
・大学のゼミ活動の一環で参加しました。
・母親の呼びかけ。
・イノベーションチャレンジで午前の中間発表後にあることをゼミの先生に知らされた。
・活動に参加してる団体の人からのお知らせ
・ビザビ様より
・学校でチラシが掲示されていた
・イノベーションラボに参加している繋がりで知ることがありました。
・大学の先輩、授業
・岡山大学岩淵先生の紹介
・職場
・みんなの集落研究所職員で
・大学側からの紹介
・午前中に行われた、学生イノベーションチャレンジの中間発表会の後にイベントがあると教えてもらったため。
・ゼミで発表した流れで
・NPO法人「みんなの集落研究所」の方に進められて、ファシリテーターとして参加しました。
・ラボの教員の紹介
・インスタグラムの投稿、SNS広告
・岡山理科大学のラボ活動の一環として。
・犬島ソーシャルデザインの講義をとっている友人
・メールが届いたので(ESDのメーリスかな？)
・自分が所属するNPO法人タブララサの方からおすすめされました。

④申込から受付までの流れはいかがでしたか？

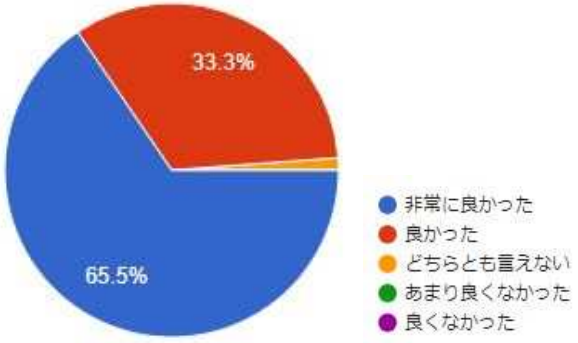
⑤会場の雰囲気はいかがでしたか？



⑥ワークショップのテーマ設定はいかがでしたか？



⑦ワークショップ全体を通していかがでしたか？



⑧⑦で回答した理由をご記入ください

・様々な人達と意見交換をすることができたため。
・岡山の未来について考えられたからです
・自分の意見新しい考えとして受け入れてもらえて、話が進んでいく流れが心地よく、とても楽しかったため。
・雰囲気もいいし、話しやすい、意見が言いやすい
・面白かったがどちらかと言うと議論がしたかったため。
・岡山市がより良くなるように考えていく上で、岡山市の知らなかった面に目を向けて知る機会にもなった。
・全員が意欲的に参加しており、熱気があったからです。
・自分の意見を考える時間が3分ではなくもう少し欲しかった。
・バックグラウンドが全く違う方々と一緒に意見を交流するのがとても楽しかったですし、私にはなかったような発想や視点も沢山聞けたのでとても勉強になりました。
・初めて参加して緊張したけれど、たくさんの方と意見を交わせられて、岡山の活性化につながると感じたから。前向きな人が多く、様々な人と話をする機会としてはよかったと思います。
・全体的にタイトで意見を深める時間がなかった。

⑧続き

・実際に住んでいる地域の意見出しをする機会がなかなかないので貴重な体験でした。みなさんのパワー溢れる意見に圧倒…
・ディスカッションがスムーズに行うことができたから。
・あまり岡山について考えたことがなかったが、みんなで考えてみると良い所、悪い所たくさん再発見できて非常に勉強になりました。
・岡山市をどうにかしたい！という気持ちの学生が多く、いいところ・課題点が明確に出た
・ファシリテーターが良かった。
・岡山市の幹部の方など本気が伺えた。
・自分では思いつかない意見を聞くことが出来たから。
・岡山のことをいろんな人と話す機会がなかったので新鮮でよかった。
・内容は良かったが、チームのメンバーが多くて意見がまとまりずらかった。発表時間が短かかった。
・岡山市を個人の視点からではなくたくさんの人たちと交流を深めたことで違う視点から岡山市を知ることができたとともに同じ意見を持つ仲間がいることに気づかされた。
・すごく楽しかったのですがまとめの時間が短かった。
・若者ばかりのワークショップというのがもう面白かった。こういうことに関心のある人同士が繋がれる場所として、素晴らしかった。
・勉強になったが、一つの課題に取り組む時間がもう少し多めに欲しかったかもしれません。
・今の課題を若者視点で考え見出して行くことがどれだけ今の時代に求められているのかをしれてよかった。
・人数として若者がたくさん集まっていたのは良かった。設問も時間に対してちょうど良かったと思う。「夢を語る」テーマ設定で自由な案を出す雰囲気が作れていた。
・人数が適切で、とても意見が言いやすい場だった。色んな世代や環境にいる人たちと話し合えたので、様々な意見が出て面白かった。
・話し合う時間が十分に設けられており、内容の濃い話し合いができたから。
・ワークに関して、説明は長いけどワーク時間が足りなかったから、説明をもっと簡単にしてほしい。

⑨ご参加いただいた感想、お気づきの点、改善点などをご記入ください

・岡山が持っている魅力や改善点を改めて考えることが出来ました。
・違う世代の人と交流でき、貴重な経験であった。
・直接企画している大人と交流できたらよかったと思う。
・もう少しワークショップの時間を増やして欲しいです、まとめるのが思ったより大変でした
・自分の意見が実際の行政の取り組みに採用されるかもしれないワークショップは貴重だと感じた。
・いろんな考え方があって、今まで参加した中で一番おもしろかったワークショップだった。
・若者同士が交流する場が少ないと感じでいたので、こういうイベントを増やしてほしい。
・学生から子育て世代までの意見をフランクに出せる貴重な機会になりました。是非、総合計画までこのスタンスを貫いてほしい。
・自分の考えを共有したり、他人の意見を聞いて岡山市を新しい考えを生み出したりすることができて面白かった
・ファシリテーター1人あたり8人が少し多い気がする。5人くらいがベストで、それ以上は喋れる人がいれば、回るけどいないときついなと感じた。
・皆さんが、意見を聴いてくださり、また他の人の意見も聞くことができてとても充実した空間であった。
・参加者の多くが岡山の「現状」あるいは「すでにあるもの」をあまり着目したことがなさそうだったので、事前に勉強したり、街の声を聞くターンがあっても良いかもしれないと感じました。
・まちづくりの価値観は人それぞれだと知り興味深かった。
・ワークショップを自分で振り返る用紙などあると、持ち帰って考えや意見をもっと膨らませることができるかもしれないです。